

納涼怪談ナイト

去る七月二十六日(土)午後七時、徳成寺において、納涼怪談ナイトが開催されました。

連日のうだるような暑さから逃れ、背筋も凍るような怖い話に耳を傾けたい人が、こんなにたくさんいるのかと驚くほどたくさんの方が県内外から駆けつけて下さいました。



右側のメイクした方が、恐怖新聞健太郎さんで、左がノンストップくそ&シガーさんです。高松市内のライブハウスなどで怪談ライブを続けて十年と五年というキャリアを積んでおられるそうです。

お二人のインスタグラムなどのSNSからの告知で何人も来て下さいました。

真夏にお寺で、怪談。副住職に勧められるまで、思いもしなかった催しでしたが、あらためてお寺と怪談は、相性抜群だったのだと痛感しました。それが証拠に、地元ラジオ局の電話インタビューの依頼が舞い込んだり、地方紙全国紙関係なく、情報欄に掲載して下さいたりしました。皆さん一人一人よく聞き入っているのが伝わります。



今回の怪談は、お一人ずつ演じるのではなく、お二人が並んで、お互いの話を引き出し合うスタイルで新鮮でした。

またお二人とも、地元在住の方なので、どこどここの裏にある池とか、どこぞこの山と言われ、なまじ知っているだけに、ゾーッとする恐怖感につながりました。市内のある山に米兵の幽霊が出る噂があるそうなのですが、犯人はノンストップさんが、その山でたむろする暴走族に「ハロー」と英語で挨拶したのがキツカケだったそうですよ。(笑)